

## 地域おこし協力隊通信 (No. 14) 空から中種子を見てみよう「大浦川河口」

一年前の夏、「種子島に移住したい!」とだけを決め、あてもなく島をグルグルと回っていました。

広い空の下ゆるやかに延びる道を走っていると、いつも違った表情を見せてくれる度にワクワクさせられた場所がありました。それは中種子町の南端にある大浦川の河口です。

大浦川の河口は広い潟湖(ラグーン)になっていて、緑が艶やかなマングローブが自生しています。ワクワクさせてくれるのはマングローブではなく、その背景です。

変わり映えは、まるで舞台が変わったかのように劇的です。舞台装置となるのは潮の満ち引きで、演出を担当するのは月です。満潮時には穏やかな水面にマングローブが映り込み、水と緑が重なり合います。そして干潮時、そんな楽園が一転します。マングローブを潤していた水が引き、隠れていた砂紋のような沼地が姿を現します。舞台は荒野に変わり、マングローブは取り残された寂しいサボテンのようになってしまいま

す。

この変化をはじめて見たときは、目の前の景色を短時間に変えてしまう潮の満ち引きに驚き、人間が及びもしない自然の凄みを再認識させられました。今でも通る度に「今はどんな感じかなあ?」と大好きな場所です。

秋晴れの空がとても綺麗な日に、この大浦川の河口周辺をドローンで空撮しました。上空から見る景色はとても美しく、地上からは見えなかつた水の色や、山、緑、川、海の繋がりをを感じる事ができます。自分が渡り鳥だったら間違いなく立ち寄るような楽園です。

いつもの景色を空から見ると違った印象になりとても面白いです。今後も町民の皆さんに町の素敵をお伝えできればなどと思っています。(松田)



空撮の動画は、企画課のFacebookでご覧いただけます

## 風踊る島へ 2017 種子島ALOHAFESTIVAL

10月13日から15日までの3日間、2017種子島ALOHAFESTIVALが本町各所で開かれ、多くの来場者がありました。

1日目は「癒しと美」の広場と題し、熊野の自然レクリエーション村で、演奏会やショップなどが開かれ、参加者は風と波の音に包まれながら、ゆったりとしたひとときを過ごしていました。

2日目は、種子島こりーなでエキシビジョンがあり、島内外の多くの出場者の様々な目を見張るパフォーマンスに、会場に訪れた人々の大きな歓声と拍手、そしてステージと一体となつて楽しむ姿が見られました。

また、夜は中央公民館でフェアウルパーティが開かれ、参加者らは地元食材を使った料理を楽しみました。

3日目はハワイからフラダンスの指導者、マカ・ヘロッド氏を迎えてのアウアナワークショップが中央公民館で開かれ、参加者はその本格的な指導に、熱心に取り組んでいました。



マカ・ヘロッド氏による指導



エキシビジョン



「癒しと美」の広場